

悦楽の磁器

佐賀県有田焼創業400年記念 企画展

有田の化粧道具

2016
10.15^{sat}
▼
12.4^{sun}

休館日：毎週月曜日

開館時間：10:00～18:00(入館は17:30まで)

※金曜日は10:00～20:00(入館は19:30まで)

企画展観覧料：一般600円

主催：伊勢半本店 紅ミュージアム

協力：佐賀県立九州陶磁文化館、有田町教育委員会、

東京都教育委員会、豊島区教育委員会

後援：佐賀県有田焼創業400年事業実行委員会

伊勢半本店 紅ミュージアム

東京都港区南青山6-6-20 K's南青山ビル1F

TEL.03-5467-3735 <http://www.isehanhonten.co.jp>

「色絵団扇和歌文碗」1780～1840年代 佐賀県立九州陶磁文化館(柴田夫妻コレクション) ※本展では紅猪口として見立てています。

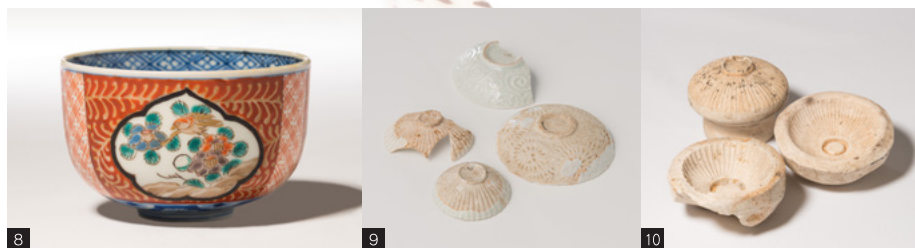


使う悦び、 うれし楽しや化粧道具!

日本で初めて磁器生産に成功した有田は、400年もの間、磁器生産地としてその技術を連綿と受け継いでいます。有田焼は生産・流通システム、政治的背景、生活様式の変化、そして近代化の波などによって時代の時どきに適応した発展を遂げてきました。17世紀後半には、海外での需要の高まりに応える形で、安定した製品供給を行う生産技術革新が起こります。しかし次第に海外での需要は厳しいものになっていくため、有田は状況に応じて生産の軸を国内需要にシフトさせていきます。

国内に磁器が広まると、「化粧」にかかる道具類も、とくに紅猪口・紅皿、白粉溶碗・白粉重、嗽碗、油壺は、磁器製が優位に立ち広く浸透していきます。天皇家や大名家の道具として詠えられる高級なものから、庶民層にも手の届く大量生産の安価なものまでという化粧道具の質の広がり、磁器生産の多様化の一端といえるでしょう。

本展は、化粧道具を通して国内向けの有田窯業の展開を紹介する展覧会です。江戸時代、身分や階層差もしくは個人差によって使う化粧品に違いがあったとしても、化粧道具の形やメイク法には共通する部分がありました。また、化粧道具は日用品ではありますが、華やかで悦ばせる容器が多く、非日常を演出してくれるアイテムでもあるのです。磁器生産がもたらした人々の生活様式の変化とともに、そこから生まれた化粧道具の色とりどりをお楽しみください。



1:「港区汐留遺跡(仙台藩伊達家上屋敷跡)出土化粧道具一括」(磁器のみ)18世紀後半 東京都教育委員会 2:「色絵蘭草文嗽碗」1670~1690年代 佐賀県立九州陶磁文化館(柴田夫妻コレクション) 3:「染付桜花流水千鳥文嗽碗」1680~1710年代 佐賀県立九州陶磁文化館(柴田夫妻コレクション) 4:「色絵折枝牡丹文嗽碗」1690~1730年代 佐賀県立九州陶磁文化館(柴田夫妻コレクション) 5:「染付菊花網代文嗽碗」1730~1790年代 佐賀県立九州陶磁文化館(柴田夫妻コレクション) 6:「染付翡翠流水文嗽碗」1740~1790年代 佐賀県立九州陶磁文化館(柴田夫妻コレクション) 7:「染付菊花鳳凰桜文嗽碗」1830~1870年代 佐賀県立九州陶磁文化館(柴田夫妻コレクション) 8:「色絵椿鳥文小碗」1800~1840年代 佐賀県立九州陶磁文化館(柴田夫妻コレクション) 9:「型押し成形紅皿」18世紀~19世紀 豊島区教育委員会 10:「紅皿土型(雄型・雌型)」18世紀 有田町教育委員会



Access

<地下鉄>

- 東京メトロ 銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅
B1出口より徒歩12分
B3出口(エスカレーター・エレベーターあり)より徒歩13分

<バス>

- 渋谷駅東口バスターミナル51番乗り場
・都01 渋谷→新橋行
・都01折返 渋谷→六本木ヒルズ行
渋谷から2つ目の停留所「南青山七丁目」(六本木通り沿い)
下車、高樹町交差点の横断歩道を渡り、左手に50m進む。
- 渋谷駅東口バスターミナル59番乗り場
・渋88 渋谷→新橋行
渋谷から5つ目の停留所「南青山七丁目」(骨董通り沿い)
下車すぐ。

【会場】伊勢半本店 紅ミュージアム 【地下1階企画展示室】

東京都港区南青山6-6-20 K's南青山ビルB1F TEL.03-5467-3735
http://www.isehanhonten.co.jp

1. 出土した化粧道具一式を展観!

本展覧会の
みどころ

発掘調査によって、江戸市中の大名屋敷跡から化粧道具が一括で出土しています。本展では2遺跡を比較展示し、その共通点と相違点を探ります。

2. 佐賀県立九州陶磁文化館

柴田夫妻コレクションの嗽碗が出陳!

お歯黒道具として使われた嗽碗。化粧は女性のもと思われがちですが、永く天皇や親王といった高貴な方はお歯黒をしていました。今回、柴田夫妻コレクションの中から皇族が使用した嗽碗を含め12点をご紹介します。

3. 紅皿・紅猪口・紅碗あれこれ。

雄型は現存1点のみ!紅皿の原型、都内初公開!

高価な紅から庶民にも手の届く紅まで、中身も容器もさまざまありました。多種多様な紅容器が一堂に会します。また、型押し成形紅皿の土型(雄型・雌型)も都内初公開です。

併催企画

「未来の匠」有田焼 ふたり展一 作家に学ぶ体験講座

■「陶板・影彫り」体験講座

2016年10月22日(土)、23日(日) 講師 川崎精一氏
時間: 各日12:30~16:30
定員: 各回8名(定員になり次第、受付終了)
参加費: 4,000円 ※材料費・観覧料込み

■「吹墨」体験講座

2016年10月29日(土) 講師 たなかふみえ氏
時間: ①10:30~12:00 ②14:00~15:30
定員: 各回8名(定員になり次第、受付終了)
参加費: 3,500円 ※材料費・観覧料込み

【企画展観覧料】

一般600円
中学生以下と障害者手帳提示者ならびに同伴者1名は無料
HP割: ホームページ限定割引券提示で100円割引
※観覧料と引き換えに、もれなく企画展リーフレットが付きます。
※複数の割引の併用はできません。

割引券
ご購入ください。

本券はご持参の方は100円引で
ご利用いただけます。
※割引の併用はできません。
※他の割引との併用はできません。